

流域治水プロジェクトの取組事例集 (帷子川水系)

(帷子川流域治水協議会)

神奈川県

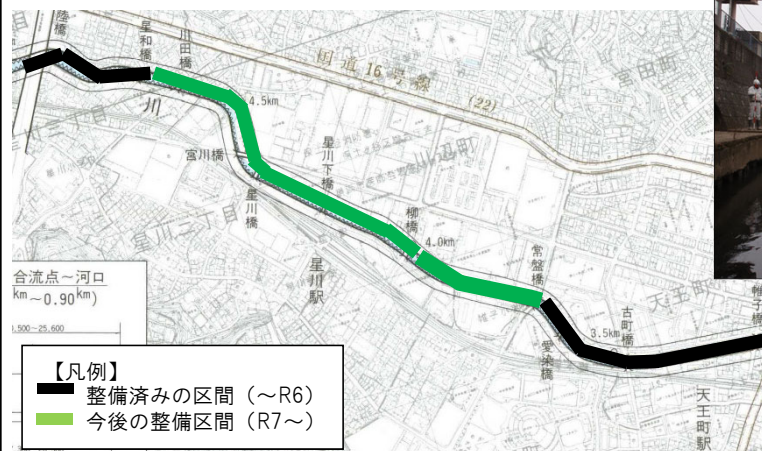
洪水氾濫対策 【河川改修事業による河道整備】

氾濫をできるだけ
防ぐ・減らす
ための対策

- 帷子川水系においては、「帷子川水系河川整備計画（平成26年12月）」に基づき、中下流区間において時間雨量約82mm規模の降雨による洪水を安全に流下させるため、河道整備（河道掘削、護岸整備等）を進めている。

実施状況

平面図



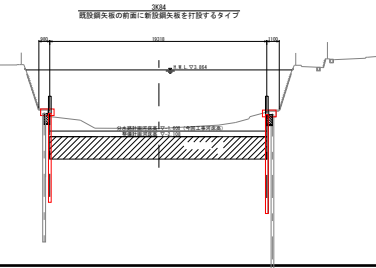
整備前



整備後



整備イメージ



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
河川改修事業による河道整備	神奈川県			

帷子川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県、横浜市

横浜市

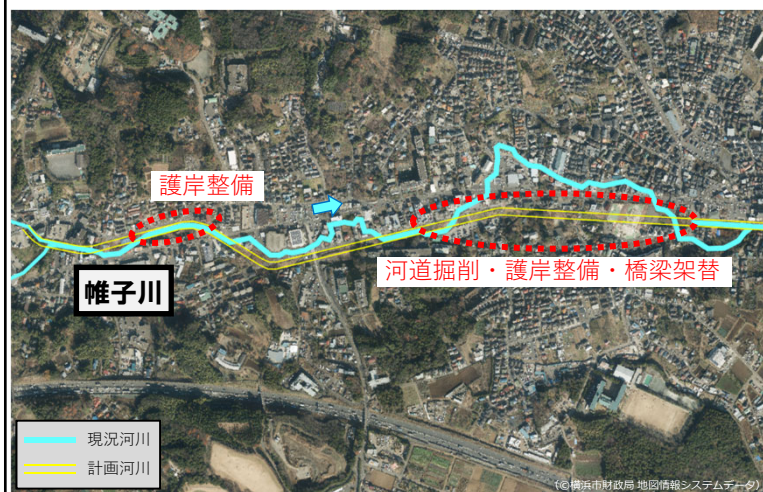
洪水氾濫対策 【河川改修事業による河道整備】

氾濫をできるだけ
防ぐ・減らす
ための対策

- 帷子川水系においては、上流区間において時間雨量約50mm規模の降雨による洪水を安全に流下させるため、捷水路等の河道整備（河道掘削、護岸整備、橋梁架替）を進めている。また、帷子川においては、近年の気候変動による自然災害リスクに対応するため、時間降雨量約60mm対応の整備にも着手している。

実施状況

平面図



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
河川改修事業による河道整備	横浜市			

帷子川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
横浜市、神奈川県

神奈川県

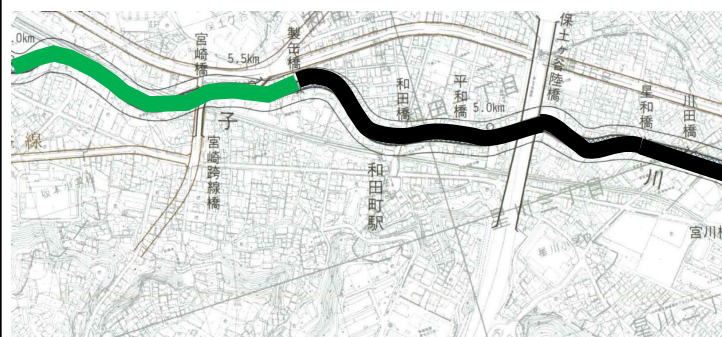
持続可能な施設能力維持 河道内の堆積土砂の撤去、樹木等の植生管理】

氾濫をできるだけ
防ぐ・減らす
ための対策

- 帷子川水系においては、河川内の樹木等を伐採するとともに、堆積した土砂を撤去することで、施設の能力を維持し、洪水時の危険性を解消する取組を進めている。

実施状況

平面図



【凡例】

- 整備済みの区間（～R3）
- 今後の整備区間（R4～）

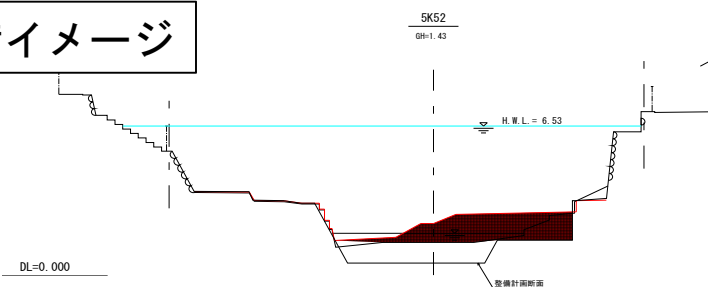
整備前



整備後



整備イメージ



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
河道内の堆積土砂の撤去、樹木等の植生管理	神奈川県			

帷子川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県、横浜市

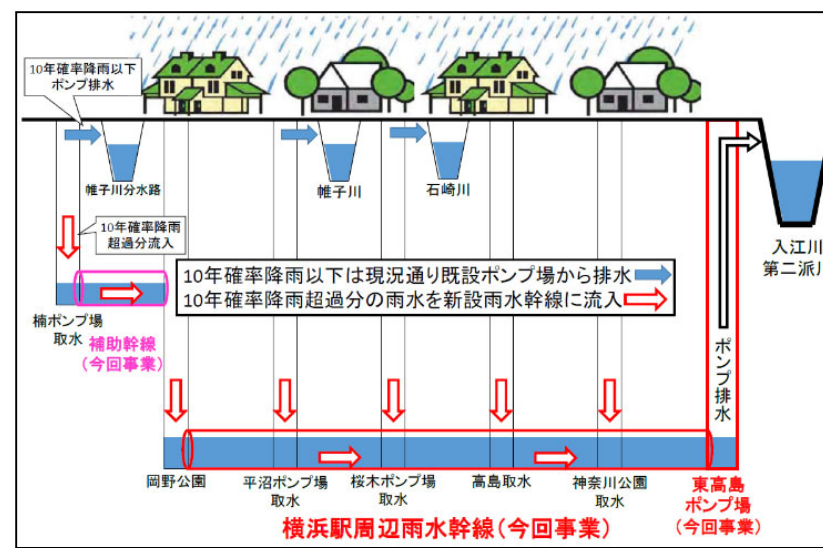
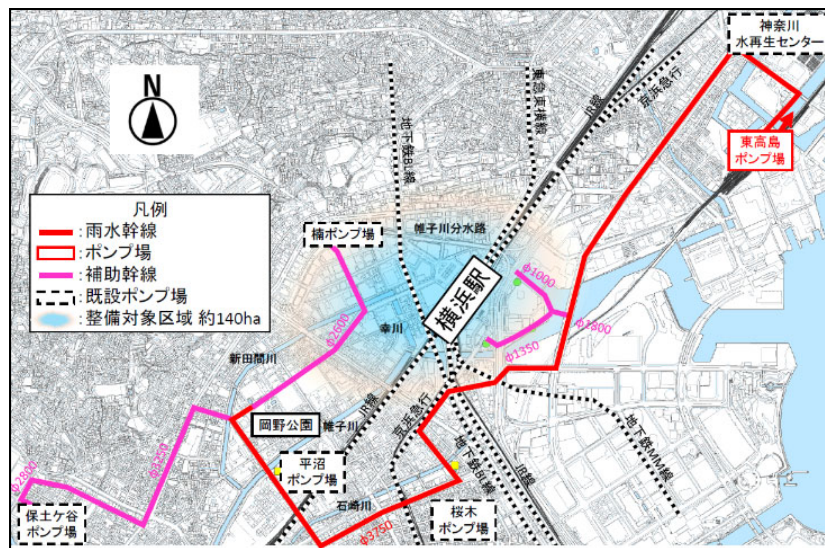
横浜市

内水氾濫対策 【ポンプ場の整備・雨水貯留施設の整備（下水道）】

氾濫をできるだけ
防ぐ・減らす
ための対策

- 10年に1回程度の降雨（1時間当たり60mm）の排水を担う既設ポンプ場を経由し、横浜駅北東の東高島駅北地区土地区画整理事業地に新設するポンプ場へと接続するルートで雨水幹線の整備を進めている。
雨水幹線および新設ポンプ場等の整備により、エキサイトよこはま22エリア（約140ha）において30年に1回程度の降雨（1時間当たり74mm）に対する浸水被害の軽減を図る。

実施状況



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
ポンプ場の整備・雨水排水施設の整備	横浜市			

帷子川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
横浜市

横浜市

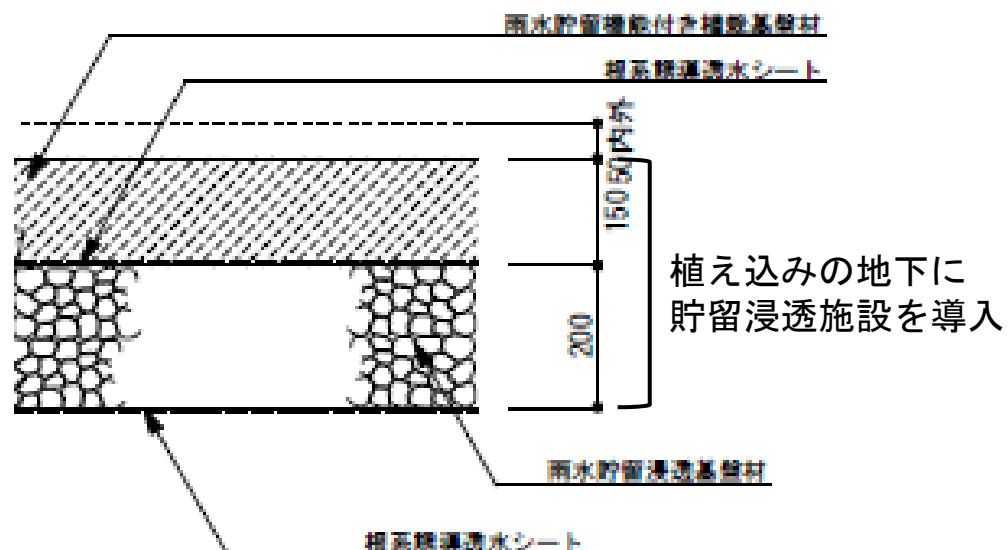
雨水貯留機能の向上 【グリーンインフラを活用した公園・緑地の整備】

氾濫をできるだけ
防ぐ・減らす
ための対策

- 公園等の再整備等に合わせて、植え込みや舗装の地下に碎石層等の貯留浸透施設を導入し、雨水の貯留・浸透機能を高める改良工事を実施している。

実施状況

断面図



状況写真



帷子川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
横浜市

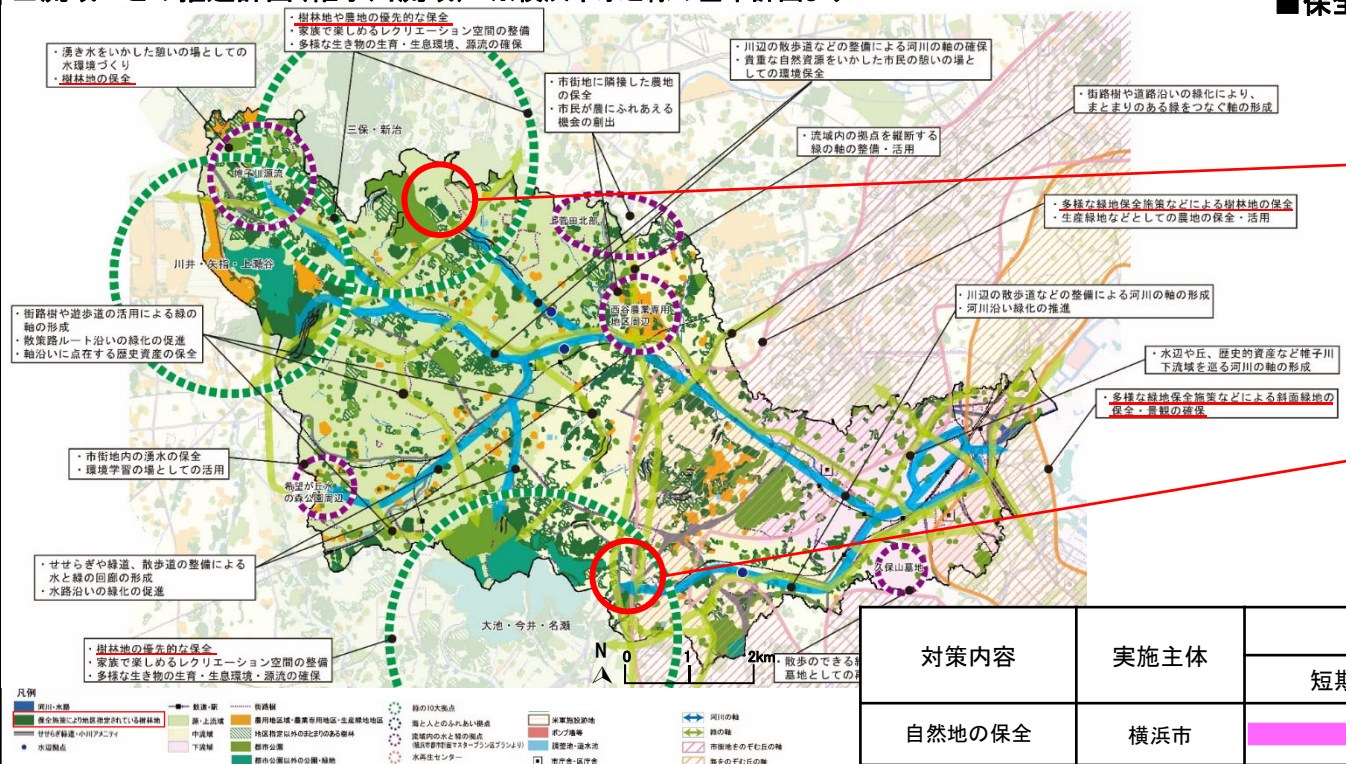
雨水貯留浸透機能の向上 【自然地の保全】

氾濫をできるだけ 防ぐ・減らす ための対策

- 横浜市では、「横浜市水と緑の基本計画（平成18年策定、平成26年改定）」に基づき、流域単位での水・緑環境の保全を進めており、特別緑地保全地区の指定等により、雨水流出量の抑制を図っている。また、平成21年からは「横浜みどりアップ計画」を策定し、樹林地保全に積極的に取り組んでいる。
- 帷子川流域では、上流域、中流域を中心にまとまりのある樹林地の保全を進めている。

実施状況

■流域ごとの推進計画(帷子川流域) ※横浜市水と緑の基本計画より



■保全した樹林地(特別緑地保全地区)の例



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
自然地の保全	横浜市			

帷子川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
横浜市

神奈川県

避難体制等の強化 【洪水浸水想定区域の看板設置】

被害の軽減、
早期復旧・復興
のための対策

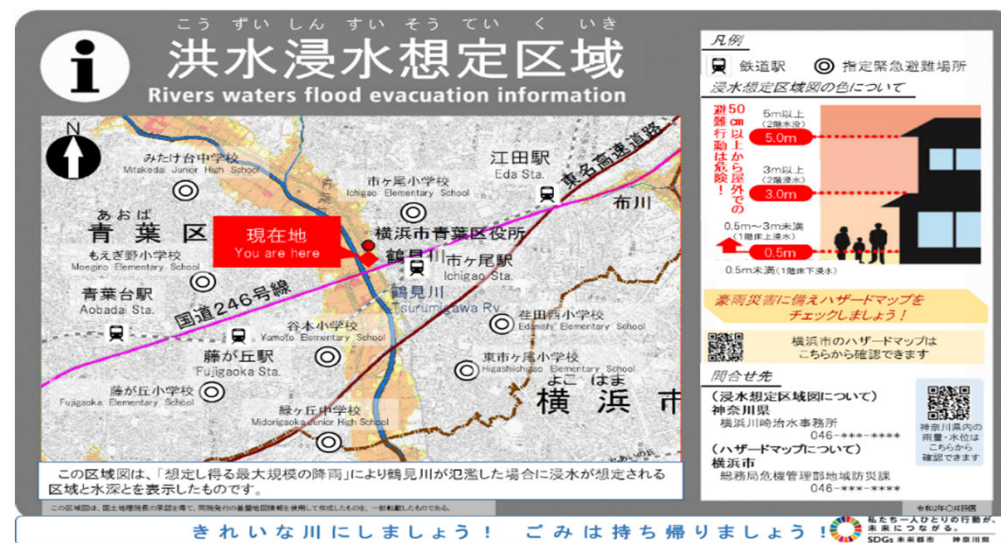
- 神奈川県では、住民の自主的な避難を促すソフト対策の一環として、洪水浸水想定区域を周知するため、浸水が想定される県管理河川に、看板の設置を進めている。

取組内容

■設置状況(イメージ)



■洪水浸水想定区域の看板事例



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
洪水浸水想定区域の看板設置	神奈川県			

帷子川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県

避難体制等の強化 【危機管理型水位計の設置】

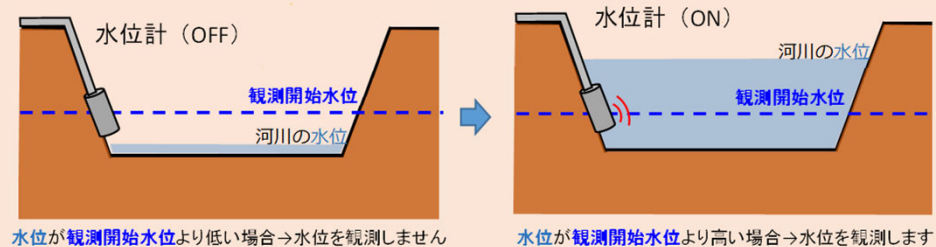
被害の軽減、
早期復旧・復興
のための対策

- 住民の適切な避難判断のための水位情報提供を目的に、これまで水位計の無かった箇所でも水位把握できるよう、洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計を設置することで、出水時の水位観測により避難体制の強化を図る。

取組内容

■危機管理型水位計とは

- ・ 洪水が発生した際に、河川周辺の住民の皆様が避難する際に、役立てていただくために設置する水位計。
- ・ 河川が未整備のため注意を要する箇所や、学校や病院など、重要な施設が周辺にある箇所に設置。



■県ホームページから水位状況を確認することが可能



■危機管理型水位計の設置事例



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
危機管理型水位計・簡易河川監視カメラの設置	神奈川県			

帷子川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県

横浜市

避難体制等の強化 【水位計・河川監視カメラの増設及び管理】

被害の軽減、
早期復旧・復興
のための対策

- 令和6年度において、横浜市では帷子川水系において水位計・河川監視カメラの増設はありませんでしたが、水位計・河川監視カメラの管理及び水位計・河川監視カメラの普及・啓発について実施しました。

取組内容

■ 横浜市水防災情報スマホ版の公開・SNS等を活用したPRについて

市内外の水位情報を掲載している「横浜市水防災情報」のページを、より多くの方に知っていただくため、本市公式のSNS等でPRをしている。

今後も設置した水位計・河川監視カメラを有効に活用するため、引き続き広報・啓発活動も併せて実施していく。

LINE

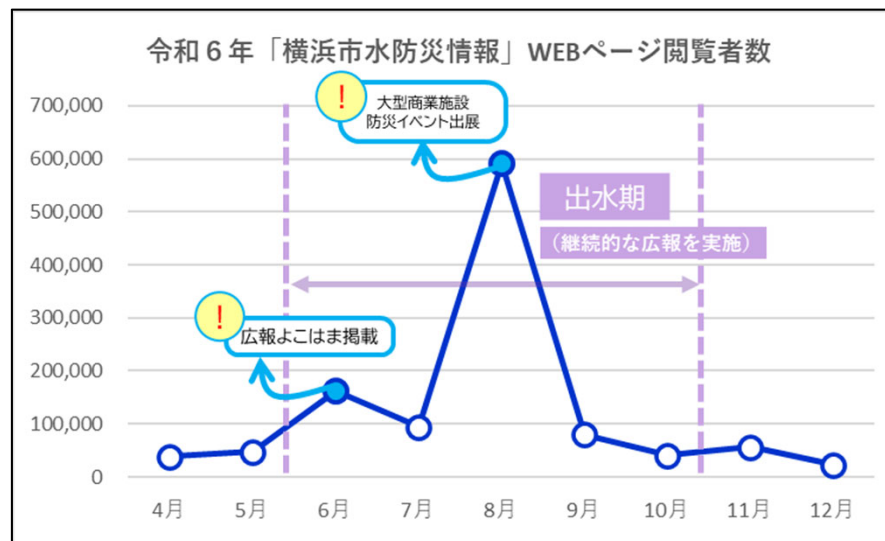
川あそび前の事前チェック！

リアルタイムで
河川状況をチェック！

「横浜市水防災情報」
ウェブページ

詳しくはこちら>

X (旧Twitter)



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
水位計・河川監視カメラの増設及び管理	横浜市			

帷子川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
横浜市、神奈川県

横浜市

避難体制等の強化 【地下街への水害リスクの提供】

被害の軽減、
早期復旧・復興
のための対策

- 市民や地下街管理者の皆様の水害に対する防災意識の向上や迅速な防災行動に役立てていただくことを目的に、横浜市ウェブサイト上で横浜駅周辺の下水道の水位情報をリアルタイムで提供している。

取組内容

■HPイメージ（TOP画面）



■HPイメージ（各マンホールの水位情報）



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
地下街への水害リスクの提供	横浜市			

帷子川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
横浜市